

【緑地の樹】

マダケ（真竹）

プロフィール: イネ科マダケ属多年生常緑
竹 さくら広場の下に群生

桜広場の西側斜面に竹林を作っている。稈は弾力性や湾曲性に優れる。筍は孟宗竹より遅く5～6月に出てくるが地上に3、40cm伸びてきたものを食べる。

成長力が盛んで次々と伸び辺りに広がっていくので、混みあって生えている所や枯れてきたものは切っていくないと竹林がどんどん大きく、暗くなってしまう。



竹の稈はざるや籠を編むのに使われ、筍の皮は物を包むのに使われた。最近では真竹に限らず管理されない竹林が増えて問題となっているが、その成長力を利用して繊維から布や紙を作ったり、洗浄剤などに加工する技術が生まれ商品化されている。

（宇野）